

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年 5月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第460105214号
法人名	社会福祉法人 鶴陽会
事業所名	グループホームあけぼの
所在地	鹿児島県鹿児島市山田2019番地 (電話) 099-275-9330
自己評価作成日	平成28年1月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年2月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

同敷地内に特別養護老人ホーム、ケアハウスがあり同世代との交流の機会や乳児院の子供達とのふれあいが日常的に楽しめます。

町内会では地域の行事に参加したり、地域の方が施設に訪問したりと交流をもっています。

運営推進会議にも町内会長や民生委員が委員として参加があり、避難訓練では地域の住民参加を呼び掛ける等の協力が得られています。

入居者様には、安全安心に過して頂けるように職員同志での情報共有に努めています。

職員は外部研修会や内部研修会に参加しています。内部研修会では毎月テーマを決め取り組み、入居者様の意思や体調に配慮しながら、入居者本位のケアの質向上に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○施設は、緑豊かな住宅街にあり、同敷地内に特別養護老人ホームとケアハウス、乳児院が混在している。散歩等の日常生活の中で、また夏祭りや避難訓練等の合同行事を通して、世代間交流や他入所者との心のふれあいが行われている。

○家庭的な雰囲気の中で、利用者の尊厳と自立支援の運営方針に基づき、地域密着型サービスの事業所理念を掲げ、さらに毎年度の施設目標と個人目標を設定している。各職員は自分の目標を意識しながら、笑顔と思いやり、やさしさをモットーに日々入所者のサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。

○町内会に加入し、回覧板の受け渡しや総会への参加、校区の運動会や町内会のグランドゴルフへの見学、小学校文化祭での作品出展、高校の職場体験受入れ、地区子供会との交流会、事業所の運動会や合同避難訓練時に民生委員や町内会長に参加して頂くなど、日頃から地域との交流の機会を多く設けている。

○認知症実践者研修や介護福祉士等の資格取得の奨励、身体拘束・感染症対策の研修会、接遇・個人情報保護、AEDや救急救命措置に関する勉強会等、現場職員に対するスキルアップへの取り組みを事業所が積極的に行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝の申し送り後、理念の唱和をすると共に職員1人1人が日々のケアに活かせるように努めている。	やさしさと気配り、そして思いやりをモットーに、常に笑顔を絶やさず、高齢者への尊厳を基本に生きる喜びと生活意欲の向上のため、家庭的な雰囲気のもと自立支援に努めている。申し送り後の唱和や玄関・事務所への掲示で理解を深め、年度事業所目標及び個人目標を設定してより良いによるサービスの提供に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣を散歩中挨拶を交わし顔なじみとなりっている。地域の行事への参加や事業者の行事参加などに協力を得ている。	町内会に加入し、回覧板の受け渡しや総会への参加、地域の運動会やグランドゴルフへの見学、小学校文化祭への出展のほか、高校生の職場体験や教員研修・短期大学生の研修受け入れ、地区の子供会とのふれあいなど交流の機会が多い。また、事業所の運動会や合同夏祭りへの地域住民の参加、野菜の差し入れや買い物・散歩時の声かけなど日常的に交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会会長や地域代表委員から地域へ情報発信を協力して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議での意見をサービスに活かしている。</p>	<p>会議には、地域包括支援センター、市役所、民生委員、町内会代表、地区代表、家族代表等の参加を得て定期的を実施している。サービスの現状や感染症関連の報告、支払方法に関する相談、マイナンバー制度、介護保険サービス関連等、意見交換が積極的に行われ業務改善やサービスの質の向上に努めている。年2回の家族会を運営推進会議と一緒に行って多くの意見や要望を把握し、迅速な対応に努めている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>長寿あんしん相談センター職員に運営推進会議へ参加をしてもらっている。</p>	<p>運営推進会議や地域のグループホーム協議会への参加のほか、介護保険申請時や日々のサービスに関する相談、年1回の介護相談員の受入れ等、日頃から市町村との連携を密に図り協力体制を構築している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>内部研修の重要なテーマとして位置付け職員に周知を働きかけている。 入居者様が安心して暮らせるケアに努めている。</p>	<p>マニュアルも整備し、月1回委員会を開催して研修も行い、身体拘束をしないケアについて正しい理解に努めてサービス提供出来るよう取り組んでいる。徘徊傾向のある入所者とは同行散歩やセンサー対応により、日常生活支援時は声かけに努めて行動制限や車椅子・ベッド柵での抑制、玄関の施錠などの支援とならないよう十分配慮しながら入居者が自由に安心して暮らせるように取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修の重要なテーマとして位置付け職員に周知を働きかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者は権利擁護に関する研修を外部で受けるよう心がけている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に丁寧な説明を行い理解を得るように努めている。家族からの疑問には随時答えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営会議や家族会場で意見をくみ取り、職員会を通じて話し合いをしている。市の介護相談委員の受け入れを行っている。	意見箱の設置や運営推進会議や家族会のほか、面会や行事、電話連絡や手紙でのやり取り、介護相談員からの聞き取り等、運営に関する入所者、家族からの意見把握に努めている。必要に応じて課題や問題点を職員会議で検討し業務改善を図り意見や要望を反映させている。遠方の家族には担当職員より意見を伺い、現状も報告・説明する等、柔軟に対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の職員会議を行い、話し合っている。	職員会議での業務改善、勤務変更や個別相談への対応、スキルアップ研修や資格取得への協力等、運営に関する職員からの意見や希望を聞く機会が多い。日頃から声かけやスキンシップ、笑顔でのコミュニケーション、現場での対話等で意見や要望の反映も図りながら、働きやすい職場環境作りに努めて円滑な人間関係構築に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事評価を作成している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修の機会を設けている。資格修得の為に勤務調整を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホームが合同で行う勉強会には、多数の職員が参加し交流を図り質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>管理者・相談員が面接を行い本人の要望・悩みを聴く環境を作っている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>話しやすい環境を作り家族の要望・悩みを聴き話し合っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>管理者・相談員が面接を行い家族・本人と話を行い、職員の意見を聴き検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活の中で入居者と共に喜び・達成感を感じたり昔ながらの行事やお菓子作りを通して、関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族に協力が大切である事を伝え、面会時や家族会の時に意見交換を行い共に本人を支えて行く関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親しい人との関係が維持出来るように電話の取り次ぎや、家族の協力を得て、墓参りを行っている。回想を取り入れたレクレーションを行い個々の思いを大切にしている。	利用者情報や初回面談時にて生活歴や家族背景等を把握する事で、馴染みの人物や場所との支援が継続できるように取り組んでいる。知人・友人の面会、散歩や買い物外出・墓参り・美容室・病院受診等、家族と協力しながら対応している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者が1人になりたい時は、居室にもどりゆっくりと過される。入居者様同士でも関係性を築いている。トラブルが発生し始めたら職員が関係調整に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先からの他施設へ入所がスムーズに出来るよう情報提供を行っている。当法人内にある特養に移られた後も本人や家族と交流を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントを行い1人1人の趣味・役割等を通して生きがいを持てる生活を出来るように支援して行く。	入所面談時や病院への入院時、行事の際や日常生活支援の際等、常に入所者の思いや意向の把握が出来るよう表情・しぐさ・体動・視線等に配慮している。意思疎通が困難でも家族の協力や担当職員からのアセスメント等を活かして本人本位のサービス提供に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話の中から知ることが出来る考え方や、家族の面会時など、これまでの暮らし方等の情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	老化や病気の進行など状況の変化に即した支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランに基づくケアを提供しているが、気づきがあった時は記録に残し、カンファレンスを通じてケアに活かせるように努める。	入所者及び家族の意向を踏まえ、モニタリングやケアカンファレンス、サービス担当者会議並びに主治医の意見を基に、関係者が総合的なサービス提供に向け情報共有を図っている。現状に即したケアプランとなるよう区分変更申請による見直しも含め本人本位のサービス提供に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>朝・夕の申し送りで情報の共有を行い申し送りノートを活用しカンファレンスなどの話し合いと共に個々の介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人との会話の中から知ることが出来るその時々ニーズを尊重し、ご家族と共有するなど、様々な支援方法に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>本人のニーズにあった支援が出来る様に職員で話し合い、また家族の意向も聴き取りながら取り組んでいる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時からのかかりつけ医や協力医療機関との関係を維持し、症状に応じて専門病院受診時は家族希望する病院を受診している。</p>	<p>入所者及び家族の希望に沿って、かかりつけ医や協力医療機関・専門病院受診を家族の協力を得ながら支援している。月1回の主治医からの訪問診療、皮膚科の往診、看護師による医療連携や受診後の診療情報の共有を図り、家族にも報告して適切な医療提供に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師に相談しながら健康管理の支援を行っている。変化がみられたら報告し適切な指示を受け支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の医師・相談員との連携を取り情報交換出来るようにしカンファレンスを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に入居者や家族等での説明を行っている。又本人様の状況変化に合わせてご家族へ説明をし、ケアに取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期の対応については、入所面談時や様々な変化に伴う受診や入院時に、事業所方針について、入所者や家族の意向や希望を踏まえた上で、ターミナル及び重度化に関する書類の説明を十分に行っている。適切な医療連携、看護・介護のサービス提供への同意を得ながら、事業所で出来る総合的支援の為に一体となって取り組む体制を築いている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当・蘇生法・AEDなどの勉強会を行っている。緊急マニュアルの周知徹底を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>町内会会長や民生委員を通し地域の協力が得られる体制をとっている。非常時に備えて水や食料品を備蓄をしており年に1度見直しをしている。</p>	<p>年5回、自主訓練と法人の施設合同で夜間想定も含めた避難訓練を実施している。全職員が自然災害や非常事態時の支援方法を学び、町内会長や民生委員も含めて地域住民の支援体制も築いている。備蓄や備品、消防設備も整備し、日本赤十字やAEDの専門業者による研修会や勉強会を行い、入所者が安心・安全に生活できるよう災害対策に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の尊厳を損ねる事のないように心がけている。職員同志でお互いに注意し合っている。	入所者への尊厳を基本に自尊心や羞恥心・プライドや誇り、プライバシーを侵害することがないように一人の人間として人生の先輩として人格の尊重に努めた声かけや支援に努めている。接遇やプライバシーに関する個人情報保護の研修を受ける事でサービスの質の向上に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の会話の中で入居者様の希望・関心好みなどを聴き出せるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日のスケジュールは決めているが、入居者様のペースに合わせ、希望に添った支援に努める。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時や外出時の前に整容や更衣が出来るように支援している。定期的に訪問美容も来られている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	全員が食事を楽しみにされている。希望があれば、外食支援を行っている。	入所者の希望に添ってメニューを決め、食物アレルギーや食事形態、感染対策等にも配慮している。入所者と一緒に食事し、料理の下準備や後片付け等も能力に応じて手伝ってもらするなど、家庭的な雰囲気での食事が楽しみとなるよう支援している。また、家庭菜園の野菜を取り入れた料理やちまき作り、ソーメン流しやおせち料理、ふぁみり庵での外食等、利用者の食事に対する刺激によって興味を持って頂いている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食食事摂取量をチェックし記録している。水分摂取が少ない入居者様はチェックをしている。又、毎月体重測定をし状況に応じ支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアに取り組んでいる。状況によっては歯科医師の指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを行い排泄パターンを把握し、適切なタイミングで自尊心を損なわないよう声かけを行っている。	排泄パターンや生活リズムを把握して、日中はトイレ誘導を促す事で失禁やオムツ使用の軽減を図り排泄の自立支援に努めている。排泄チェック表やポータブルトイレの保管にもプライバシーと自尊心に十分配慮し、不快な臭気等については環境美化と清潔保持がなされ、トイレでの排泄が自然に促せるよう食事や生活リハビリにも留意しながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の多い食材や乳製品を使用することで予防に努めている。又、散歩や毎日の健康体操を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を決めているが、入居者様の体調や気分によって日にちや時間を変更し、その都度対応している。	週3回、入所者の希望に沿って好きな時間に入浴出来る体制をとっている。体調不良時は、全身清拭や部分浴を行い、バイタルチェックや水分補給、軟膏塗布等を行いながら、安心・安全な入浴支援に努めている。入浴を好まれない方へは、声かけの工夫や、入浴日を変更し対応している。入浴剤利用やフットマッサージなど、入浴をより楽しめるよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	規則正しい生活リズムが送れるよう支援しているが、入居者様のその日の体調や気分によって、その都度対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診等で薬の内容が変わる時などは申し送りや連絡ノートを通じて職員に周知するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>本人の希望や家族からの情報を基に支援を行って行っている。</p>	/	
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>入居者様の要望やご家族の要望に応じて買い物の支援を行い、外食等も行っている。運動会など地域と交流を持っている。</p>	<p>利用者の体調や天候に応じて、日常的には買い物や散歩、墓参り、病院受診を支援している。また、花見や初詣、ソーメン流し、地区の運動会やグランドゴルフへの見学、文化祭への出展、外食等、入所者の希望に沿って家族と協力しながら外出支援に努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の持ち込みは断っているが、買い物等を行う際には事前に家族へ連絡をとり預かっている。</p>	/	
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話や手紙等希望される場合には支援を行うようにしている。入居者様自ら電話や手紙を出すことが難しくなっており、入居者様宛の電話がある場合は支援している。</p>	/	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を配慮した飾り付けをし入居者とのコミュニケーションに繋げている。</p>	<p>日当たり良好で各階のベランダでは日光浴が自由に楽しめる。庭には菜園もあり季節感を肌で感じられる。AEDや玄関のセンサー設置等リスク対策も万全で、床は絨毯が敷かれ、渡り廊下は柔軟性のある構造で安全に配慮されている。中庭には多くの樹木があり、オープンキッチンからは入所者の状況も確認でき、リビングには大きなソファと畳敷きのベッドも置かれてくつろぎと憩いの場となっている。室温調整や清掃にも配慮され、作品や行事の写真・生活感のある飾りつけ等で居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有スペースでの席では、入居者様に居心地良く過ごしてもらえよう、各入居者の好みの場所や他入居者様との関係を注意している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は入居者様が過ごしやすい環境を保つため、掲示物やなじみの品物を持ち込んでもらい、環境を整えている。</p>	<p>床は安全のため絨毯仕様でベッド・クローゼット・洗面台・ナースコールが完備され、必要に応じてセンサーや加湿器を購入して頂いている。家族写真・テレビ・ダンス・作品の掲示等、家族と協力しながら、使い慣れた物を持ち込んでもらい居心地よく過ごせるように支援している。また、排泄問題や見当識障害のある入所者についての配慮も行っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーで手すり伝いに移動が自由に出入り出来る。入居者も洗濯物を干されたりする。トイレなどの場所の表示も行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝の申し送り後、理念の唱和をすると共に職員1人1人が日々のケアに活かせるように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣を散歩中挨拶を交わし顔なじみとなりっている。地域の行事への参加や事業者の行事参加などに協力を得ている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会会長や地域代表委員から地域へ情報発信を協力して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での意見をサービスに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	長寿あんしん相談センター職員に運営推進会議へ参加をしてもらっている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	内部研修の重要なテーマとして位置付け職員に周知を働きかけている。 入居者様が安心して暮らせるケアに努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修の重要なテーマとして位置付け職員に周知を働きかけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者は権利擁護に関する研修を外部で受けるよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に丁寧な説明を行い理解を得るように努めている。家族からの疑問には随時答えている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営会議や家族会の場で意見をくみ取り、職員会を通じて話し合いをしている。市の介護相談委員の受け入れを行っている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の職員会議を行い、話し合っている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事評価を作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修の機会を設けている。資格修得の為に勤務調整を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホームが合同で行う勉強会には、多数の職員が参加し交流を図り質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>管理者・相談員が面接を行い本人の要望・悩みを聴く環境を作っている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>話しやすい環境を作り家族の要望・悩みを聴き話し合っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>管理者・相談員が面接を行い家族・本人と話を行い、職員の意見を聴き検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活の中で入居者と共に喜び・達成感を感じたり昔ながらの行事やお菓子作りを通して、関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族に協力が大切であることを伝え、面会時や家族会の時に意見交換を行い共に本人を支えて行く関係作りに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>親しい人との関係が維持出来るように電話の取り次ぎや、家族の協力を得て、墓参りを行っている。回想を取り入れたレクリエーションを行い個々の思いを大切にしている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者が1人になりたい時は、居室にもどりゆっくりと過される。入居者様同士でも関係性を築いている。トラブルが発生し始めたら職員が関係調整に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院先からの他施設へ入所がスムーズに出来るよう情報提供を行っている。当法人内にある特養に移られた後も本人や家族と交流を継続している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントを行い1人1人の趣味・役割等を通して生きがいを持てる生活を出来るように支援して行く。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話の中から知ることが出来る考え方や、家族の面会時など、これまでの暮らし方等の情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	老化や病気の進行など状況の変化に即した支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランに基づくケアを提供しているが、気づきがあった時は記録に残し、カンファレンスを通じてケアに活かせるように努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝・夕の申し送りで情報の共有を行い申し送りノートを活用しカンファレンスなどの話し合いと共に個々の介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人との会話の中から知ることが出来るその時々ニーズを尊重し、ご家族と共有するなど、様々な支援方法に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人のニーズにあった支援が出来る様に職員で話し合い、また家族の意向も聴き取りながら取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時からのかかりつけ医や協力医療機関との関係を維持し、症状に応じて専門病院受診時は家族希望する病院を受診している。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師に相談しながら健康管理の支援を行っている。変化がみられたら報告し適切な指示を受け支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の医師・相談員との連携を取り情報交換出来るようにしカンファレンスを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に入居者や家族等での説明を行っている。又本人様の状況変化に合わせてご家族へ説明をし、ケアに取り組んでいる。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当・蘇生法・AEDなどの勉強会を行っている。緊急マニュアルの周知徹底を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>町内会会長や民生員を通し地域の協力が得られる体制をとっている。非常時に備えて水や食料品を備蓄をしており年に1度見直しをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者様の尊厳を損ねる事のないように心がけている。職員同志でお互いに注意し合っている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日々の会話の中で入居者様の希望・関心好みなどを聴き出せるように努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な一日のスケジュールは決めているが、入居者様のペースに合わせ、希望に添った支援に努める。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>起床時や外出時の前に整容や更衣が出来るように支援している 馴染みの店でパーマや染めたり定期的に訪問美容も来られている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>全員が食事を楽しみにされている。希望があれば、外食支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食食事摂取量をチェックし記録している。水分摂取が少ない入居者様はチェックをしている。又、毎月体重測定をし状況に応じ支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアに取り組んでいる。状況によっては歯科医師の指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを行い排泄パターンを把握し、適切なタイミングで自尊心を損なわないよう声かけを行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の多い食材や乳製品を使用することで予防に努めている。又、散歩や毎日の健康体操を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を決めているが、入居者様の体調や気分によって日にちや時間を変更し、その都度対応している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	規則正しい生活リズムが送れるよう支援しているが、入居者様のその日の体調や気分によって、その都度対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診等で薬の内容が変わる時などは申し送りや連絡ノートを通じて職員に周知するように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の希望や家族からの情報を基に支援を行って行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者様の要望やご家族の要望に応じて買い物の支援を行い、外食等も行っている。運動会など地域と交流を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の持ち込みは断っているが、買い物等を行う際には事前に家族へ連絡をとり預かっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話や手紙等希望される場合には支援を行うようにしている。入居者様自ら電話や手紙を出すことが難しくなっており、入居者様宛の電話がある場合は支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を配慮した飾り付けをし入居者とのコミュニケーションに繋げている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有スペースでの席では、入居者様に居心地良く過ごしてもらえよう、各入居者の好みの場所や他入居者様との関係を注意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は入居者様が過ごしやすい環境を保つため、掲示物やなじみの品物を持ち込んでもらい、環境を整えている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで手すり伝いに移動が自由に出入り出来る。入居者も洗濯物を干されたりする。トイレなどの場所の表示も行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない